

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月26日
【四半期会計期間】	第106期第2四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)
【会社名】	昭和電工株式会社
【英訳名】	Showa Denko K.K.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 市川 秀夫
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門一丁目13番9号
【電話番号】	03(5470)3384
【事務連絡者氏名】	財務・経理部 会計・税務グループリーダー 中野 知久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝大門一丁目13番9号
【電話番号】	03(5470)3384
【事務連絡者氏名】	財務・経理部 会計・税務グループリーダー 中野 知久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の子会社昭光通商株式会社の商社子会社である昭光通商（上海）有限公司（以下、「昭光通商（上海）」という。）は、中国国内において鉄鋼関連製品の商取引を行ってまいりました。

昭光通商（上海）は、仕入先商社及び販売先商社から受領した証憑に基づき、売上及び仕入を計上してまいりましたが、従来順調であった代金の回収について、平成26年12月入金予定分に滞留が生じました。そこで、昭光通商（上海）より販売先商社に督促しましたところ、今年3月上旬、平成26年6月以降の売上について製造元から製品の出荷がなされていないこと、また納品が無いにもかかわらず販売先から受領書が発行されていたことなどが判明しました。

このため、平成26年6月以降の売上及び仕入を取り消すことといたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成26年8月12日に提出いたしました第106期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1 株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第105期 第2四半期連結 累計期間	第106期 第2四半期連結 累計期間	第105期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	401,409	413,606	848,071
経常利益 (百万円)	5,387	7,210	23,488
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (百万円)	2,158	3,433	9,065
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	19,141	6,944	34,866
純資産額 (百万円)	330,700	310,609	345,811
総資産額 (百万円)	967,071	966,500	985,771
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額() (円)	1.44	2.29	6.06
(後略)			

(後略)

(訂正後)

回次	第105期 第2四半期連結 累計期間	第106期 第2四半期連結 累計期間	第105期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	401,409	413,384	848,071
経常利益 (百万円)	5,387	7,201	23,488
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (百万円)	2,158	3,436	9,065
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	19,141	6,951	34,866
純資産額 (百万円)	330,700	310,602	345,811
総資産額 (百万円)	967,071	966,491	985,771
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額() (円)	1.44	2.30	6.06
(後略)			

(後略)

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の概況

(中略)

当第2四半期連結累計期間の連結営業成績については、売上高は、石油化学セグメントはエチレン生産設備の大型定期修理に伴う減産により減収となったが、他の5セグメントは主に数量増により増収の4,136億6百万円(前年同四半期連結累計期間比3.0%増)となった。営業利益は、石油化学、無機、アルミニウムの3セグメントは減益となったものの、主にエレクトロニクスセグメントにおいてレアアース磁石合金の改善やハードディスクが堅調に推移したため増益となり105億42百万円(同56.8%増)となった。これを受け経常利益は72億10百万円(同33.8%増)となったが、四半期純損益は、投資有価証券評価損の計上に加え法人税等の増加があり34億33百万円の損失(同55億91百万円減益)となった。

(2)セグメントの状況

(中略)

(その他)

当セグメントでは、当第2四半期連結累計期間のリチウムイオン電池材料は、スマートフォン、タブレット向けに加え車載用も出荷が増加し増収となった。

昭光通商(株)は主に海外関連事業が増収となった。

この結果、当セグメントの売上高は993億39百万円(前年同四半期連結累計期間比20.7%増)となり、営業利益は3億36百万円(同12億36百万円増益)となった。

(3)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、石油化学セグメントにおいて大型定期修理に伴う売上債権の減少等により、前連結会計年度末比192億71百万円減少し9,665億0百万円となった。負債合計は、仕入債務は減少したが、劣後特約付ローンによる調達などで有利子負債(借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債)が増加し、前連結会計年度末比159億30百万円増加の6,558億91百万円となった。当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期配当金の支払い、四半期純損失の計上、為替換算調整勘定の減少、及び当社100%出資の特別目的子会社が発行したユーロ円建交換権付永久優先出資証券の買入消却による少数株主持分の減少等により、前連結会計年度末比352億2百万円減少の3,106億9百万円となった。

(後略)

(訂正後)

(1)業績の概況

(中略)

当第2四半期連結累計期間の連結営業成績については、売上高は、石油化学セグメントはエチレン生産設備の大型定期修理に伴う減産により減収となったが、他の5セグメントは主に数量増により増収の4,133億84百万円(前年同四半期連結累計期間比3.0%増)となった。営業利益は、石油化学、無機、アルミニウムの3セグメントは減益となったものの、主にエレクトロニクスセグメントにおいてレアアース磁石合金の改善やハードディスクが堅調に推移したため増益となり105億33百万円(同56.7%増)となった。これを受け経常利益は72億1百万円(同33.7%増)となったが、四半期純損益は、投資有価証券評価損の計上に加え法人税等の増加があり34億36百万円の損失(同55億94百万円減益)となった。

(2)セグメントの状況

(中略)

(その他)

当セグメントでは、当第2四半期連結累計期間のリチウムイオン電池材料は、スマートフォン、タブレット向けに加え車載用も出荷が増加し増収となった。

昭光通商(株)は主に海外関連事業が増収となった。

この結果、当セグメントの売上高は991億17百万円(前年同四半期連結累計期間比20.4%増)となり、営業利益は3億27百万円(同12億27百万円増益)となった。

(3)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、石油化学セグメントにおいて大型定期修理に伴う売上債権の減少等により、前連結会計年度末比192億80百万円減少し9,664億91百万円となった。負債合計は、仕入債務は減少したが、劣後特約付ローンによる調達などで有利子負債(借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債)が増加し、前連結会計年度末比159億28百万円増加の6,558億89百万円となった。当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期配当金の支払い、四半期純損失の計上、為替換算調整勘定の減少、及び当社100%出資の特別目的子会社が発行したユーロ円建交換権付永久優先出資証券の買入消却による少数株主持分の減少等により、前連結会計年度末比352億9百万円減少の3,106億2百万円となった。

(後略)

第4【経理の状況】

(訂正前)

(前略)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

(訂正後)

(前略)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しているが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,250	54,871
受取手形及び売掛金	3,415,090	3,148,051
(中略)		
その他	330,358	334,679
貸倒引当金	256	236
流動資産合計	374,599	355,452
固定資産		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	78,688	73,432
その他	27,969	21,775
貸倒引当金	531	511
投資その他の資産合計	106,125	94,696
固定資産合計	611,172	611,048
資産合計	985,771	966,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
(中略)		
その他	78,667	69,557
流動負債合計	346,945	338,772
(中略)		
負債合計	639,961	655,891
純資産の部		
株主資本		
(中略)		
利益剰余金	58,414	50,540
自己株式	149	151
株主資本合計	261,050	253,174
(中略)		
少数株主持分	44,599	20,257
純資産合計	345,811	310,609
負債純資産合計	985,771	966,500

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,250	54,871
受取手形及び売掛金	3,415,090	3,147,795
(中略)		
その他	330,358	334,681
貸倒引当金	256	236
流動資産合計	374,599	355,198
固定資産		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	78,688	73,432
その他	27,969	22,020
貸倒引当金	531	511
投資その他の資産合計	106,125	94,941
固定資産合計	611,172	611,293
資産合計	985,771	966,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
(中略)		
その他	78,667	69,554
流動負債合計	346,945	338,770
(中略)		
負債合計	639,961	655,889
純資産の部		
株主資本		
(中略)		
利益剰余金	58,414	50,537
自己株式	149	151
株主資本合計	261,050	253,171
(中略)		
少数株主持分	44,599	20,254
純資産合計	345,811	310,602
負債純資産合計	985,771	966,491

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 6月30日)
売上高	401,409	413,606
売上原価	354,598	361,065
売上総利益	46,811	52,541
販売費及び一般管理費	1 40,089	1 41,999
営業利益	6,723	10,542
(中略)		
経常利益	5,387	7,210
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	4,099	2,524
法人税等	1,248	5,448
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	2,852	2,924
少数株主利益	694	509
四半期純利益又は四半期純損失 ()	2,158	3,433

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 6月30日)
売上高	401,409	413,384
売上原価	354,598	360,852
売上総利益	46,811	52,532
販売費及び一般管理費	1 40,089	1 41,999
営業利益	6,723	10,533
(中略)		
経常利益	5,387	7,201
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	4,099	2,515
法人税等	1,248	5,445
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	2,852	2,931
少数株主利益	694	505
四半期純利益又は四半期純損失 ()	2,158	3,436

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	2,852	2,924
(中略)		
四半期包括利益	19,141	6,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,637	7,224
少数株主に係る四半期包括利益	1,504	279

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	2,852	2,931
(中略)		
四半期包括利益	19,141	6,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,637	7,227
少数株主に係る四半期包括利益	1,504	276

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,099	2,524
(中略)		
売上債権の増減額(は増加)	2,092	11,018
(中略)		
その他	3,974	12,463
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,076	11,298
(後略)		

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,099	2,515
(中略)		
売上債権の増減額(は増加)	2,092	11,278
(中略)		
その他	3,974	12,714
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,076	11,298
(後略)		

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(前略)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	化学品	エレクト ロニクス	無機	アルミ ニウム	その他	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	116,425	61,805	68,553	28,996	41,684	96,142	413,606	-	413,606
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,301	5,531	956	4,350	4,125	3,197	21,460	21,460	-
計	119,726	67,336	69,509	33,346	45,809	99,339	435,066	21,460	413,606
セグメント損益 (営業損益)	1,941	1,387	13,202	761	1,792	336	14,016	3,473	10,542

(後略)

(訂正後)

(前略)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	化学品	エレクト ロニクス	無機	アルミ ニウム	その他	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	116,425	61,805	68,553	28,996	41,684	95,920	413,384	-	413,384
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,301	5,531	956	4,350	4,125	3,197	21,460	21,460	-
計	119,726	67,336	69,509	33,346	45,809	99,117	434,844	21,460	413,384
セグメント損益 (営業損益)	1,941	1,387	13,202	761	1,792	327	14,007	3,473	10,533

(後略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	1円44銭	2円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	2,158	3,433
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	2,158	3,433
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,496,597	1,496,568

(後略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	1円44銭	2円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	2,158	3,436
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	2,158	3,436
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,496,597	1,496,568

(後略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 3月26日

昭和電工株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 浦 洋 輔

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋 山 俊 夫

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 木 豊

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和電工株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和電工株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成26年8月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。